

のどかな日本の原風景が残り、自然と人々の暮らしが共存している南多久町南溪地区。ここで5月16、17、23、24の4日間、南溪いきいき協議会が準備を進めてきたグリーンツーリズムの本格的スタートとなった『イチゴ狩り』が開かれました。今回は、その催しの主催者や参加者などのお話と一緒に、これからのイベントや取り組みをご案内しましょう。

特集 ● 本格スタート。南溪地区のグリーンツーリズム

山の分校で癒しの

田舎体験を！

がばいばあちゃんのロケ地

グリーンツーリズムとは、農村漁村地域に滞在して、体験やその地域の自然や文化、人々との交流を楽しむことで、地域活性化の手法として各地で展開されており、田舎暮らしブームや癒しスポットとして人気を呼んでいます。そんなグリーンツーリズムを市内で取り組む地域協議会が、昨年8月1日に立ち上げた『南溪いきいき協議会』です。廃校になった南溪分校を拠点に、恵まれた自然やのどかな農村、人材を活かして、

住み慣れたふるさとを活性化しようとする地域の力を結集したもので、自然と文化、人々との交流を楽しめる準備を進めてきました。イチゴ狩りを皮切りに、県内でも珍しいベリー園や果樹園、竹林、そば畑などでの収穫体験やそれらの加工体験、懐かしい田舎料理教室、収穫祭への参加、体験農園の貸し出し、夏休みや冬休みの文化活動イベントなど季節を追って楽しめる企画が豊富に準備されています。また、この南溪分校周辺は、

のどかな日本の原風景が残り、昨年は島田洋七監督の映画『佐賀のがばいばあちゃん』のロケが行われ、公開中の映画では随所にこの地が映し出されます。散策するだけでも、懐かしい雰囲気に入り、たくさん思い出が作れそうです。みなさんも色々な体験に参加して余暇を満喫し、新しい何かを発見してみませんか。そして、田舎にあこがれる人たちに多久のグリーンツーリズムをぜひ紹介してください。

新聞や行政放送番組「お知らせ多久さん」でイベント参加を募集したところ、4日間で遠くは神崎市から16家族、47人の方に参加いただきました。コミュニケーションを大切に、おもてなしの心で交流を深め、この場所や活動を知ってもらうことができた第一歩となり、感動された一つひとつが農村に活気を運び、次へとつながるものでした。市民のみなさんにも、私たちの活動を知っていただき、ご親戚やお友達にも伝えてくだされば幸いです。映画「佐賀のがばいばあちゃん」のロケがあった分校で、みなさんに映画を見ていただく機会も実現させたく、地域が一带となって一緒に、人も地域も元気になる活動に頑張りたいと思います。

丹精込めて栽培しているイチゴ園地で、イチゴが大好きなみなさんに、たくさんの感動体験をしていただけ嬉しく思いました。今回、ご希望に応えきれないほどの問い合わせがあったので、次回はその反響に応えられるようにできればと思います。

イチゴ狩り園主 ▼の藤崎保彦さん



▲前列左から南溪いきいき協議会役員の角田一彦会長、古閑勝己副会長、会計の水本直さん。後列左から鈴山良司さん、市丸実男さん

